



ホームページ

2021.09.29
No. 033



Twitter

八地申
第2号

八王子支社運輸部輸送課指令室新設に関する申し入れ 団体交渉を行う！

(8月16日申し入れ・9月21日団体交渉開催)

1. 指令業務における日々の疑問や不安を解消するとともに、全指令員のレベルアップと新人指令員の教育を充実させるため、教育指導員を新指令室内に配置すること。

(会社回答) 今後も必要な教育・訓練を実施していく。

確認事項

- ・使用する PRC 装置の機器操作、線路閉鎖、運転整理の方法等、訓練や日々の OJT で指令室全体レベルアップを図っていく。
- ・乗務員区のような指導担当者を配置する考えはないが、現行（拝島 CTC センター）のように業務分担として教育・訓練担当を配置する考えである。
- ・訓練を充実させることが重要であり、教育担当が訓練等の準備を行えるよう必要な要員を確保していく。

確認

2. 新指令室の要員数は、室長1、指令長5、教育指導員を含む指令員12とすること。

(会社回答) 業務運営に必要な要員は確保していく。

確認事項

- ・現段階で室長のようなポジションを配置する考えはない。1日4徹の出面の中では、異常時等の平時回復に向けた方向性を示す役割がある指令長と指令員3名を基本として配置していく。
- ・怪我、病気等により指令員の要員が苦しくなった場合は、必要な訓練を受けた輸送課が応援に入るが、応援ありきではなく、指令室と輸送課の要員は分けて必要な要員を配置する。

確認

3. 今後の教育・訓練の策定と指導については、異常時対応の経験豊富なベテラン指令員を中心に行なうこと。

4. 新指令室における業務の定着と安全の観点から、本施策に伴う異動は行わないこと。

(会社回答) 引き続き、訓練計画を策定し、必要な教育・訓練を実施していく。就業規則に則り取り扱うこととなる。

輸送サービス労組

- ・施策提案を前後して、約6ヶ月間でベテラン指令員が5名転勤し、異常時対応能力が低下し、安全レベルは低下している。
- ・新指令室は、新設が目的ではなく、異常時に強い指令室を創り出すことであり、準備期間での異動は止めるべきである。

JR 東日本会社

- ・ベテランは減少しているが、事故が発生するギリギリの段階ではなく、色々な経験を積んだ人が集まる事で安全レベルは低下しない。
- ・何でもできる万全な体制を築くことは出来ないと考えている。タイミングはあるが、必要な人事運用は行っていく。

対立

安全運行を司る指令室は
万全な体制を創るべきだ！

確認事項を履行させ、異常時に強い指令室を創り出そう！